



日本機械学会 発電用原子力設備規格 設計・建設規格（SCC事例規格含む） ／材料規格／溶接規格 2020年版の概要

2023年2月2日

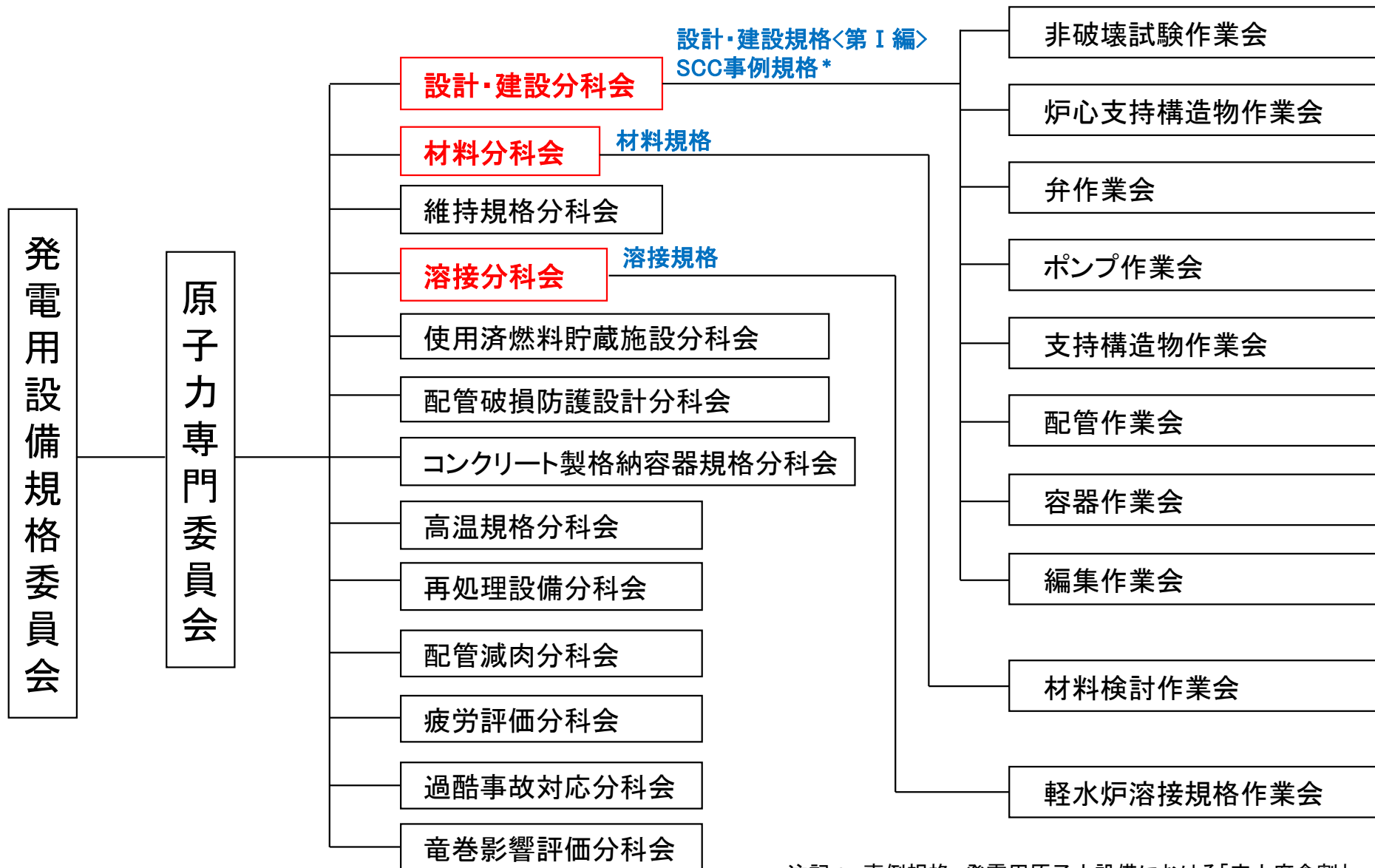
（一社）日本機械学会
発電用設備規格委員会

対象規格の発刊状況

規格名	発刊状況
設計・建設規格〈第I編 軽水炉規格〉 (JSME S NC1-2020)	発刊済 (2022年版準備中)
材料規格(JSME S NJ1-2020)	発刊済 (2022年版準備中)
溶接規格(JSME S NB1-2020)	発刊済 (2022年版準備中)
設計・建設規格 事例規格 発電用原子力設備における「応力腐食 割れ発生の抑制に対する考慮」 (JSME S NC-CC-002(改定)-2)	発刊準備中

注：設計・建設規格2020年版は、材料規格及び溶接規格2016年版(2019年追補まで含む)を引用している。

対象規格の関係組織図



注記* : 事例規格 発電用原子力設備における「応力腐食割れ発生抑制に対する考慮」

対象規格2020年版の位置付け

- 設計・建設規格<第 I 編 軽水炉規格>(2012年版)、材料規格(2012年版)及び溶接規格(2012年版、2013年追補)発行以降、以下の年版及び追補を発行。
 - ・2013年追補、2014年追補、2015年追補
 - ・2016年版、2017年追補、2018年追補、2019年追補
 - ・2020年版

- 2020年版以降は追補は発行せず、2年毎の年版の発行となり、次は2022年版の予定である。

- 事例規格 発電用原子力設備における「応力腐食割れ発生の抑制に対する考慮」(JSME S NC-CC-002)発行以降、以下の改定版を発行。
 - ・NC-CC-002(改訂版):2011年制定
 - ・NC-CC-002(改訂)-1:2013年制定
 - ・NC-CC-002(改訂)-2:2022年制定(発刊準備中)

対象規格の策定プロセス(1/2)

○設計・建設規格<第 I 編 軽水炉規格>(2012年版)、材料規格(2012年版)及び溶接規格(2012年版、2013年追補)発行以降の審議実績を以下に示す。

対象規格	分科会	原子力 専門委員会	発電用設備 規格委員会	公衆審査
設計・建設規格 2013年追補～2020年版	2012年10月～ 2020年9月 計57回 (第121～177回分科会)	2013年2月～ 2020年12月 計33回 (第72～104回原專委)	2013年3月～ 2020年12月 計33回 (第64～96回規格委)	2013年6月～7月 2014年6月～7月 2015年7月～8月 2016年8月～9月 2017年7月～8月 2018年7月～8月 2019年7月～8月 2020年8月～9月
材料規格 2013年追補～2020年版	2012年11月～ 2020年12月 計52回 (第108～159回分科会)	2013年2月～ 2020年12月 計33回 (第72～104回原專委)	2013年3月～ 2020年12月 計33回 (第64～96回規格委)	2013年9月～10月 2014年10月～11月 2015年10月～11月 2016年10月～11月 2017年10月～11月 2018年10月～11月 2019年11月～12月 2020年10月～11月
溶接規格 2014年追補～2020年版	2012年10月～ 2020年2月 計35回 (第86～120回分科会)	2013年8月～ 2020年6月 計29回 (第74～102回原專委)	2013年12月～ 2020年7月 計28回 (第67～94回規格委)	2014年6月～7月 2015年6月～7月 2016年9月～10月 2017年6月～7月 2018年6月～7月 2019年7月～8月 2020年8月～9月

○各委員会の議事概要、並びに公衆審査意見及び回答はHPに示す。

対象規格の策定プロセス(2/2)

公正・公平・公開のルールに従って規格を策定

公正：書面による投票: Due Process (規約に則った運営)

→ 専門委員会、規格委員会では各委員が規格案に対して書面投票を実施(右図)

公平：規格を審議する専門委員会および規格委員会の委員構成は特定業種に偏らない

→ 最低5業種が含まれ、かつ、同一業種からの委員が委員総数の3分の1以下

公開：開催日の公表、審議の公開(オブザーバ参加可能)、議事録の公表、規格に対する一般公衆意見の受付

→ 上記の事項をホームページを利用して実施(下図)

会議予定

会議名	原子力専門委員会 過酷事故対応分科会 (第15回)
開催日時	2022年10月24日(月) 13:30~16:00
開催場所	Web会議

会議名	原子力専門委員会 配管減肉分科会 PWR作業会 (第49回)
開催日時	2022年10月25日(火) 13:30~
開催場所	WEB会議

会議名	原子力専門委員会 設計・建設分科会 弁作業会 (第114回)
開催日時	2022年10月26日(水) 13:30~16:30
開催場所	日本機械学会 第5会議室及びWebEXによるハイブリッド開催

議案・投票状況/結果

日本機械学会
発電用設備規格委員会
委員各位

2020年6月18日
日本機械学会
発電用設備規格委員会
委員長 加口 仁

発電用原子力設備規格 設計・建設規格 第1編2020年版改定提案(その2)に対する投票結果

- 投票番号 : 発電用設備規格委員会投票No. 466
- 投票議案名: 発電用原子力設備規格 設計・建設規格 第1編2020年版改定提案(その2)の承認
- 投票開始日: 2020年5月14日(木)
- 投票締切日: 2020年6月15日(月)
- 投票結果
 - (1) 投票の成立について
委員総数の5分の4以上(20票以上)の投票があり、本投票は成立した

(2) 投票の採決について
いずれも意見付反対票はなく、投票数の3分の2以上(17票以上)の賛成票があり、投票議案は可決された。(専門委員会運営規約第9条第2項(4))

(3) 保留意見/参考意見
下記参照

No.	件名	賛成	反対	保留	未投票	意見	結果
1	No. 1: 引用、参考規格年版見直し	25	0	1	1	1件	可決
2	No. 2: 引用規格の最新年度版への更新	26	0	0	1	無し	可決
3	No. 3: 解説 別表1-1、1-2の見直し	26	0	0	1	2件	可決

対象規格改定の主な方針

○対象規格の改定は、以下の目的で、継続的に実施している。

- 評価手法の高度化
- 新知見の取り込み
- 新材料の取り込み
- 規定適用範囲の拡大
- 規格間での整合性の確保
- 引用規格の取り扱いの明確化 等

補 足

技術評価対応への要望

- 該当規格は、いずれも既に技術評価されている規格であり、技術評価にあたっては、前回からの変更点を評価していただきたい。
- 過去に技術評価を実施し、技術基準に関する規則の解釈で引用されている年版(追補)は、そのまま引用を維持していただきたい。(技術基準に関する規則の解釈 第17条第11項にて、「施設時に適用された規格によること」と記載されており、現在引用されている年版(追補)を有効にしておく必要があると考える。)

JSME規格における表記適正化の取組み

- ◆ 2014年に設計・建設規格で誤記の問題が顕在化したため、2016年度～2018年度にかけて、メーカーOB等を活用して、全面的な誤記チェックを実施。
 - 全面チェックにおいて抽出された誤記は、委員会で確認の上、正誤表を発行するとともに、順次最新版の規格に反映。
- ◆ 規格内及び規格間の表現のズレを抑制するため、推奨表記集を制定。
 - これに基づく表記の修正を順次実施中。
- ◆ 規格作成時における表記チェックリストの運用に関する内規制定。
 - 内規制定後、改定提案時及び規格発行時に表記チェックリストを用いてチェック実施。